SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：合資会社三共建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念に基づいて毎年「年度目標」を策定し、全社員と共有する体制を整えています。「目標計画」に明文化することで、目指す方向を明確にし、定例の朝礼や代理人会を通じて周知を徹底しています。 ・さらに、半年ごとに進捗状況を確認・見直すことで、全社員が一丸となって目標達成に取り組む内部管理体制を構築しています。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・建設業法、労働基準法、下請法などに関する法令遵守の徹底を図るため、社内研修を定期的に実施し、必要に応じて外部研修も受講させています。 ・社員一人ひとりの法令意識を高めており、法令違反を未然に防ぐための内部監査体制を整備し、日常業務においても遵法意識を維持できる職場づくりに取り組んでいます。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・談合などの不正競争行為を未然に防ぐため、入札や受注に際し、透明性のある契約プロセスを品質マニュアルに明記しています。 ・見積書の内容は社内で二重チェックを行い、手続きの正確性を確保しています。 ・定期的な研修を通じて、社員一人ひとりに公正な競争の重要性を周知徹底し、倫理的な企業行動の維持に取り組んでいます。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社会や環境への影響を適切に評価・対応するため、管理責任者を設置し、SDGsに基づく取組を推進する体制を整えています。 ・事務所および現場ごとに責任者を配置し、施工体制に基づき環境保全・安全管理・地域配慮などの項目を計画・実施しております。これにより、持続可能な事業運営を支える組織体制を構築しています。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・業務に用いるアプリケーションソフトについても正規ライセンスの取得を徹底し、著作権を含む知的財産権の保護に取り組んでいます。 ・無断複製や不正使用を防ぐ社内ルールを整備し、ソフトウェアの適正な利用と更新管理を通じて、法令順守と企業の信頼性向上を図っています。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客情報および従業員の個人情報を重要な情報資産と捉え、厳格な管理体制を整備しています。 ・パスワードを設けたシステムで保護を徹底し、定期的な内部監査を通じて運用状況を点検・是正することで、漏洩リスクの最小化と信頼性の確保に取り組んでいます。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・発注者・行政機関・監督官庁・業界団体・地域との丁寧な関係構築を重視しています。 ・職員とその家族には、経営方針や業務状況をわかりやすく共有し、安全と安定を基盤とした信頼関係を築いています。 ・行政や自治体とは、直接の協議や建設業協会を通じた連携により、地域防災や社会貢献活動に参画しています。 ・地域住民への工事説明会を実施し、協力会社とは安全大会や意見交換を通じて協力体制を強化しています。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先や協力業者を重要なパートナーと位置づけ、環境や社会課題への対応においても連携を深めております。 ・環境負荷の少ない工法・機械・材料の選定を協議し、生物多様性や生態系への悪影響を防止するため、定期的な情報共有や意見交換を実施しています。 ・サプライチェーン全体で持続可能な取り組みを推進してまいります。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・性別・年齢・障がい・国籍・出自・信条などによる一切の差別やハラスメントを排除するための体制を整えております。 ・全社員が尊厳をもって働ける職場環境を維持するため、採用・配置・昇進の各段階において公平性を重視し、人権教育やハラスメント防止に関する社内研修を定期的に実施しております。 ・必要に応じて外部研修への参加も推奨し、意識向上に取り組んでいます。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故や健康被害を未然に防止するため、安全で衛生的な職場環境の整備を最優先課題として取り組んでおります。 ・毎朝のKY（危険予知）活動を通じて作業内容に潜むリスクを共有し、安全ルールの徹底を図っています。 ・年1回の安全大会を実施し、社員・協力会社の安全意識の向上と行動の定着に取り組んでいます。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・全社員に対し、雇用形態・性別・年齢にかかわらず、公平かつ適正な評価と報酬を提供することを基本方針としております。 ・「同一労働同一賃金」の原則に基づき、職務内容と成果に応じた賃金体系を整備し、透明性のある人事を通じて社員の働きがいと納得感のある処遇を実現しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・社員が家庭生活と仕事を無理なく両立できるよう、働き方改革を推進しております。 ・長時間労働の是正や有給休暇の取得奨励に取り組み、心身ともに健康で充実した生活を送れる職場環境の整備に力を入れております。 ・育児や介護といったライフステージに応じた支援制度を整備し、柔軟な働き方を実現しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「人材こそ最大の資産」と捉え、社員の継続的な成長を支援しています。 ・OJTを基本としつつ、外部研修や認定講習会への参加を推奨し、資格取得に向けた奨励金制度も導入しています。 ・こうした取組みにより、従業員の意欲と専門性の向上を図っています。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員が心身ともに健康に働ける職場環境の整備を重要な経営課題と捉えています。 ・定期健康診断の費用を会社が全額負担し、ストレスチェックやKY活動による体調確認を実施しています。 ・禁煙や運動、食生活の改善に関する啓発活動に加え、夏季には熱中症対策として空調服やスポーツドリンクの配布、休憩時間の確保など、健康と安全を両立した現場づくりに取り組んでいます。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・性別や年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、多様な人材が互いに尊重し合い、それぞれの能力を最大限に発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。 ・女性や高齢者、外国人、障がい者の雇用を積極的に推進し、短時間勤務制度や再雇用制度の整備など、柔軟な働き方を支える体制を整えています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ICTなどの先端技術を積極的に導入し、業務効率の向上とICT施工の推進に取り組んでいます。 ・施工管理アプリ、電子契約の導入により、業務の省力化とペーパーレス化を図るとともに、迅速で的確な対応を通じて顧客満足度の向上にも貢献しています。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス　新規　事業者名：合資会社三共建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物や有害化学物質の取扱いに関して、使用・保管場所ごとに厳格な管理体制を構築し、環境汚染の予防に取り組んでいます。 ・地域住民や従業員の安全確保を目的に、マニフェストによる管理を徹底し、処理業者とは適正な契約を締結しています。 ・定期的な安全教育を実施し、全社員の意識向上と適正な運用を図っています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・全社的に電気や燃料の使用量を「簡易計算シート」で毎月見える化し、事務所や工事現場でのエネルギー効率の改善に取り組んでいます。 ・LED照明や省エネ機器の導入、空調温度の適正運用、車両の整備やアイドリングストップの推進を通じて、資源の有効活用とコスト削減を両立し、持続可能な経営を実現しています。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・管理部門を中心に毎年温室効果ガス排出量を「簡易計算シート」で算出し、CO_2排出量の抑制に取り組んでいます。 ・排出ガス対策型建設機械の使用を徹底し、ハイブリッド車・低燃費車への切替も進めています。 ・各部署での排出源を明確化し、エネルギー源の見直しや業務の効率化を図ることで、気候変動対策と企業の社会的責任を果たしてまいります。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・地域の生態系保護を重視し、本社敷地や工事現場において環境整備を行う際は、周辺の植生や動物の生息環境への影響を評価し、慎重な対応を徹底しています。 ・除草剤の使用削減や外来種の持ち込み防止、在来種保護活動への協力を行うとともに、河川隣接工事では汚濁防止フェンスを設置し、自然に配慮した施工を推進しています。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・限りある資源を有効に活用するため、社員一人ひとりが日常業務において3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践しています。 ・紙・プラスチック・金属などの廃棄物を抑制・再使用・再資源化し、オフィスでのペーパーレス化や再生資材の積極的な使用、資源の分別徹底を進めることで、効率的な資源利用と循環型経営の実現に取り組んでいます。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・熊本の豊かな地下水資源を将来にわたり守るため、社内外での節水活動に取り組んでいます。 ・給湯室やトイレには節水啓発のチラシを掲示し、水使用量の削減に努めています。 ・水道蛇口の点検やトイレの使用方法の工夫など、日常的な取り組みを継続しています。 ・建設現場で発生する汚濁水は、適切な分別と処理を行い、地域の水循環保全と地下水涵養への貢献を目指しています。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・環境に配慮した製品の使用を推進しており、調達時には「グリーン購入法」適合品（文房具、家具など）を優先しています。 ・現場では再生資材、間伐材、排出ガス対策型建機、LED照明などを活用し、省エネと環境負荷の低減に取り組んでいます。 ・用紙の裏面使用や仮設資材の再利用も実施し、資源の有効活用を図っています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・自社敷地および工事現場における緑化を推進し、花壇の整備やグリーンカーテンの設置を行っています。 ・造成・舗装工事では法面緑化や在来種の植栽を提案し、景観の向上と生態系の保全に取り組んでいます。 ・地域住民と連携し、河川清掃活動を定期的に実施することで、緑の保全と地域との共生を図っています。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の持続的循環に賛同し、地元林業事業者と連携して取り組んでいます。 ・現場では木製型枠の再利用や、間伐材を活用した養生材・仮設フェンスを導入し、国産木材の利用拡大に取り組んでいます。 ・森林保全の啓発として丸太小屋の事務所も設置し、木材の価値と地場産業の振興に貢献しています。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：合資会社三共建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品およびサービスの安全性と品質を確保するため、ISO9001を導入し、品質マネジメント体制を構築しています。 ・定期的な外部審査や社内監査、顧客満足度調査を実施し、継続的な改善を図っています。 ・施工時には自主管理基準を設け、現場ごとの品質と安全性の向上に取り組んでいます。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・誰もが安心して利用できる環境づくりを目指し、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施工を推進しています。 ・視覚・聴覚に配慮した工事看板や標示材の使用を徹底し、夜間工事では十分な照明を設置しています。 ・工事により段差が生じる場合はスロープを設置し、高齢者や障がいのある方を含むすべての方が安全に通行できるよう配慮しています。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地域経済と環境保全の両立を図るため、熊本県産資源の積極的な活用に取り組んでいます。 ・工事案内板や危険区域看板には県産杉の間伐材を使用し、盛土材・路盤材・護岸材などにも地元の原材料を優先的に採用しています。 ・地域資源の有効活用を推進し、地産地消の実現と森林資源の循環利用にも貢献しています。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域社会との共生を重視し、八代市の河川清掃やごみ収集などの社会貢献活動に積極的に参加しています。 ・防災訓練への参加や災害時の重機・人員の提供など、地域防災への協力体制を整えています。 ・地域イベントや寄付活動にも関与し、社員にも地域活動への参加を奨励することで、地域に根ざした企業としての役割を果たしています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・近年の自然災害を教訓に、ハザードマップを活用した避難計画を整備し、災害時の迅速な対応を図っています。 ・社内には飲料水・非常食・簡易トイレなどを備蓄し、定期的に避難訓練を実施しています。 ・施工現場でも安全管理計画を策定し、非常時の連絡体制や安全確保手順を明確にすることで、自助によるレジリエンス向上に取り組んでいます。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・環境問題や人権課題を含むSDGsの理念を社内外に広く普及するため、SDGsに関する講習会や研修に積極的に参加しています。 ・社内研修会を開催し、「熊本県SDGs登録」キックオフを実施することで、全社員の意識向上を図っています。 ・社員の家族にもSDGsの重要性を伝え、家庭と職場の両面から理解と実践を促進しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・将来の人材育成と地域への愛着を育むことを目的に、地元小中学校と連携し、建設業協会と共に児童・生徒向けの職場体験を実施しています。 ・八代市や高校、ハローワーク、関係団体と連携し、高校生へのインターンシップの受け入れを行うことで、地域の若者に建設業の魅力や仕事のやりがいを伝え、次世代を担う人材の育成に取り組んでいます。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。